

高校教育指導課通信 VOL.2

「高校教育指導課通信」では、新型コロナウイルス感染症対策に伴う各学校の工夫した取組等について情報提供します。第2号は広島国泰寺高等学校です。

令和2年5月28日(木)

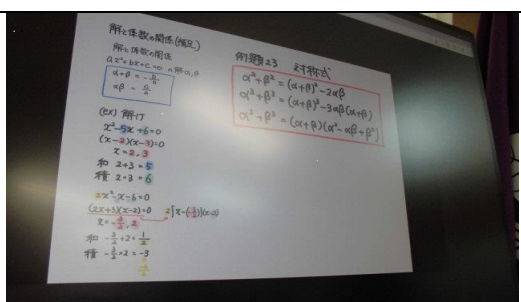
広島国泰寺高等学校 <http://www.kokutaiji-h.hiroshima-c.ed.jp/>

主体的な学びを促す授業づくり

—各種計画に基づいた資質・能力の育成を図るカリキュラム・マネジメントの充実—

Q1 動画やスライド資料はどのような目的で活用されていますか？

A 動画やスライド資料は、単元全体を捉えさせたり、思考を活性化させたりする場面を中心に活用するようにしています。例えば、数学科では、解法のポイントを提示し動画で説明を流しています。また、英語科では、音声テストを実施し学習の定着度が分かるように、ループリックを生徒と共有しています。



数学Ⅱ 生徒の思考の流れに合わせた補足説明の動画

全教科並びに総合的な探究の時間に予め通信容量が割り振られています。そのため、動画やスライド資料の使用目的を明確にして動画、スライド資料、課題等を作成しています。

また、学校再開後にもICT機器を活用できるように、以前より教科内で単元計画についてよく協議するようになっていきます。

今後は、生徒への情報過多に留意して、教科間の調整を行う必要があります。



担当の先生より



英語表現Ⅰ 生徒が提出した音読テストのファイル一覧

Q2 学校再開後にはどうされますか？

A 学習の定着状況を丁寧に見取っていく必要があると思っています。これまででも小テスト等の解答や生徒からの質問によりつまづきに対応してきましたが、今後は課題も含め定着状況を分析した上で指導計画を修正しながら授業を実施し、PDCAを回していくことが重要と考えます。

主体的な学びを促す授業づくりを後押しする校内体制づくり

—ICT機器の効果的な活用—

Q3 組織的な取組になるように、どのような工夫をされていますか？

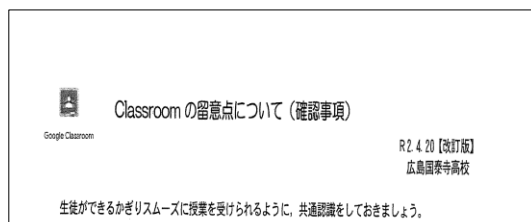
A①生徒向け学習の手引きの作成・配付

早い段階で、生徒に「臨時休業中のオンライン授業での学習の進め方」(生徒の手引き)(4月15日時点)を提示しました。

②教職員向けG Suiteガイドラインの作成・提示

教職員には、「Classroomの留意点について」を提示(4月20日時点)し、校内におけるG Suiteのガイドラインを示しました。

通信容量の教科配分、生徒への配信時間設定とその厳守、サービス管理、学習評価の留意事項などを含んでおり、見通しのある指導ができるようにしています。



教員向けガイドラインの一部

今後も、「高校教育指導課通信」で様々な情報を各学校へ発信してまいります。取材の希望等がありましたら、高校教育指導課へ御連絡ください。